

チェルノブイリの子どもたち



チェルノブイリ子ども基金 NEWS No. 80 2010年3月20日発行

チェルノブイリ 24周年 救援キャンペーン



1986年4月26日に起きたチェルノブイリ事故から24年。事故により今も苦しむ子どもたちのため私たちができることは・・・。



最新現地報告&チャリティコンサート

4月24日(土) 14時開演
文京シビック 小ホール

広河隆一 チェルノブイリ写真展

4/21(水)~4/23(金)
文京シビック 1F 展示室

詳細は次ページ



新発売 ポストカード

広河隆一撮影・子どもたちの写真のポストカードが完成しました。2010年カレンダーに使用している写真から6枚をセットに。1セット500円/10セット以上1割引(送料別)
チャリティイベントとポストカードの収益はチェルノブイリ被害者の子どもたちのために使われます。

脳腫瘍の手術で入院中のダリーナは1月から意識がなく、人工呼吸器をつけたままです

チェルノブイリ24周年救援イベント 2010年4月

2010年4月にチェルノブイリ24周年救援イベントが各地で行われます。みなさまのご来場を心よりお待ち申し上げます。

“チェルノブイリ24周年 最新報告&チャリティコンサート”

2010年4月24日(土)14:00開演
文京シビックホール 小ホール

〔主催〕チェルノブイリ子ども基金・子ども基金文京 連絡先：03-5228-2680

“広河隆一 チェルノブイリ写真展”

4月21(水)～23日(金) 10:30～20:00
文京シビックホール 展示室

〔主催〕チェルノブイリ子ども基金・子ども基金文京 連絡先：03-5228-2680

◇第1部：チェルノブイリ最新報告

子ども基金スタッフ・佐々木真理：3月に訪問した子どもたちの様子をお伝えします。

◇第2部：チャリティコンサート

オクサーナ・ステパニユックさん

歌・バンドゥーラ (ウクライナの民族楽器)

「ドニエプル・ワルツ」、「もし私に刺繍ができたなら」、「どれほどあなたを愛しているか」、そのほかウクライナ民謡など。

♪ ウクライナ出身のオクサーナさんによるバンドゥーラの弾き語りとピアノ伴奏による歌。

印田千裕さん ヴァイオリン

「序奏とタランテラ」サラサーテ、「ヴァイオリンソナタ第2番」幸田延

♪ 2月にはエジプトでコンサートを開催。普段あまり耳にする機会のない日本人作曲家によるヴァイオリン曲も演奏していただきます。

田中良茂さん ピアノ

「ラ・カンパネラ」リスト

♪ 日本フィルハーモニーには80回をこえる客演をしている田中さん。ソロ演奏とともに、伴奏もしていただきます。

丹羽広さん 歌

歌劇『清教徒』からリッカルドのアリア「あゝ、永遠に君を失った」ベッリーニ

♪ 社長業の傍ら数多くのオペラに出演している異色のバリトン歌手。

共演曲：「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」、「アヴェ・マリア」カッチーニ

※詳細は同封のチラシをごらんください。

各地のイベント

〔札幌〕 4/23(金)～26(月)

「チェルノブイリ24周年 広河隆一写真展」

JR手稲駅の自由通路「あいくる」 無料

問合：「サークルどこ吹く風」「チェルノブイリのかけ橋」 T/F 011-511-3680

〔三重〕4月上旬「チェルノブイリ24周年 広河隆一写真展」(詳細未定)

津センターパレス1階市民ギャラリー 無料

問合：広河隆一非核・平和写真展事務局
T/F 059-229-3078

〔名古屋〕4/25(日)「チェルノブイリ24周年企画 in名古屋～被曝した子どもたちの願いに応えるために～」13:30～

名古屋YWCA ビッグスペース 一般1000円(前売り800円) 中・高生 500円(前売り400円)

講演「ひばくの連鎖を終わらせるために私たちにできること」(鎌仲ひとみ)、

「科学者の眼で見たチェルノブイリ」(河田昌東)

問合：24周年企画 in名古屋実行委員会

Tel 090-1239-1410 T/F 059-229-3078

〔大阪〕4/29(日)「'10ノーモア チェルノブイリ 関西のつどい」

大阪市城北市民学習センター

講演「チェルノブイリともんじゅ」(小林圭二)

歌とバンドゥーラ オクサーナ・ステパニユック

寸劇・写真展・チャリティコンサートほか

問合：実行委員会 T/F 072-843-1904

2010年救援募金キャンペーン

“チェルノブイリ被害児童に
放射線汚染のない土地での保養を！”

子ども基金は1996年より毎年、チェルノブイリ被害者で甲状腺ガンの手術を受けた子どもたちをウクライナ・ベラルーシのサナトリウムでの保養に招待してきました。2007年からは、脳腫瘍・目のガン・白血病などの子どもたちも保養に参加しています。

放射能に汚染されていない場所で、仲間と共にさまざまな体験をしてのびのびと過ごすことは、子どもたちの健康回復に大きな効果をもたらします。

<2010年の保養計画>

ベラルーシ ミンスク州ビレイカ地区ブジシ村「児童健康回復センター“希望21”」

17.3ドル(1日の滞在費)×37人×24日間

ウクライナ ウクライナ国内の子ども用サナトリウム(詳細は次号でお知らせします。)

30ドル(1日の滞在費)×26人×15日間【予定】

この他に保養所までの交通費、保険代などが掛かります。

今年も子どもたちの保養が実施できるよう、
どうかみなさまのあたたかいご支援を
お願いいたします。

新年・クリスマスのお祝いの会

ベラルーシ・ゴメリに慈善団体「困難の中の子どもたちへ希望を」から新年・クリスマスのお祝いの会の報告が届きました。2008年は子ども基金の一般募金から支援をしましたが、昨年は1人の募金者の方からこの会への支援のお申し出がありました。

日本のスポンサーからの助のおかげで、子どもたちにより贈り物をすることができました。全会員388人がお菓子と果物を受け取りました(お菓子の詰め合わせセット:910ドル、

みかん・バナナ:90ドル)。他の贈り物(チップス・ぬいぐるみ・子ども劇場の切符)は、他のスポンサーからの寄付で買いました。ゴメリ市とレッチツァ市の子ども劇場には、12歳までの55人の子どもが行きました。劇場のチケット代は、1人約6ドルです。劇場では小さなプレゼントも渡されました。これはチケット代に含まれています。

子ども基金の方がベラルーシを訪問の際、領収書をお渡します。

代表 ワレンチーナ・ポホモワ



お祝いの会に招待された子どもたち

2009年6月 家族訪問 (その3)

報告 佐々木 真理

日本の里親から支援を受けている家族を訪問しました。母親は二人とも甲状腺ガンの手術を受けており、以前子ども基金の別の支援（若い家族支援・奨学生支援）を受けていました。子どもの病気や生活の苦勞を語りながらも、前向きな姿勢を持ち続けています。

* ~ *

D・ナターシャ 1983年生まれ

娘 ナースチャ 2007年生まれ

ベラルーシ ミンスク市

(前は2007年9月に訪問。2008年3月発行基金ニュースNo.72で報告しています。)

ナターシャは、チェルノブイリ事故当時祖母の住むゴメリ州の村で被曝。10歳のときに甲状腺ガンの手術を受けた。娘のナースチャは生まれてすぐ脳腫瘍・筋緊張・副腎の異常と診断された。その後、小児麻痺・運動障害と診断され、障害児認定を受けた。ナターシャの住むアパートはミンスク市の一番端にある新しい地区。娘の治療のため毎日、市の中心にある神経リハビリセンターに通っている。

「あるときから娘はなんの反応も示さなくなりました。いろいろな病院にかかりましたが“なんでもない、時間が経てばよくなる”と言われるだけでした。しかし、私と夫はそのままにしておいてはいけなと思いました。知り合いから小児ガンセンターを教えられ、今年(2009年)2月、そこで小児麻痺と診断され、治療方針が決まりました。娘は2ヶ月前からやっと笑ったり反応を示したりするようになりました。これは私たちにとって、とてもうれしいことです。目の調子も少しよくなってきているように感じます。マッサージ治療と言語療法にも通っています。3歳を過ぎたら手術が必要になるかもしれないと言われています。

自分たちはいろいろ調べたので、娘の病気のことを医師と同じくらい詳しく知っています。自分で調べて自分から行動しないと、医者は何もしてくれません。私が甲状腺ガンの手術を受けているから、娘の病気がまるで私のせいのように言われることもあります。娘のような病気

の子どもがいることを、医師たちは隠したがっていると思います。最後にたどり着いた病院では、“どうして今までこの子を放っておいたのか”と言われました」

夫セルゲイは運送の仕事をしている。「社会保障アパートを得ることができ、ここへ引っ越してきました。初めは、冷蔵庫以外の家具は何もありませんでした。両方の両親や親戚がいろいろ援助してくれなかったら生活できないでしょう。それから子ども基金のおかげで()ベッドを買うことができました。台所のテーブルセットも買ったばかりです」ナターシャは床に置いたダンボールにきれいに並べてある衣類などを見せて、「寝室や台所の棚などは、少しずつ揃えていくから今はこれで大丈夫です！」と笑顔で話した。出産前まで保育士として働き、現在は産休中。「ナースチャを入院させることもすすめられましたが、病院の環境があまりよくないため、自分が面倒を見たほうがよいと思いました」

2009年2月まで、子ども基金の「若い家族支援」を受けていた。



B・ユーリヤ 1984 年生まれ

娘ミラーナ 2004 年生まれ

ベラルーシ ミンスク市

ユーリヤは 14 歳のときに甲状腺ガンの手術を受けた。外語大学在学中は、子ども基金の「奨学生支援」を受けていた。「娘のミラーナは 2 年前に腎臓の病気と診断され、たくさんの薬を飲んでいますが。副作用がいろいろなところに現れて、そのためにまた別の薬を処方されます。ビタミン剤もずっと買っています。大人が飲むような心臓の薬も処方されていて心配です。食べ物の制限が多く、幼稚園では他の子どもとは別のものを食べています。ダンスが好きでしたが、ダンスや水泳など、激しい運動は禁止されています。私も小さい頃は活発で、ダンスやスポーツが好きでした。でも甲状腺の手術を受けてからは諦めなくてはなりませんでした。

私は家の近くの小学校で教師をしています。労働条件はとても悪いです。学校の修理（壁・柵のペンキ塗りなど）は全部教師たちがやっています。壁紙やペンキを自分たちで買ったり、親たちからお金を集めたりしています。自分や娘の通院などのために休暇をとろうとすると“代わりはいくらでもいる”というようなことを言われます。学校の仕事がこんなにひどいとは思いませんでした。学校の仕事とは別に、近所の障害児の自宅に教えに行っています。200 ドルくらいの給料だけでは生活できません。公共料金だけで 1 ヶ月約 70 ドルかかります。この地区には最近、新しいスポーツセンターが 3 つも建設されました。そういうお金はあっても、国は学校や病院のためには使わないのが悔しいです」

別居中の夫は、ユーリヤの社会保障アパートの権利を自分のものにしようとしている。裁判で争うことになるかもしれない。ユーリヤの母親は、「もしアパートをあげて娘と孫の健康が元に戻るなら、いくらでもあげる。病気を抱えている娘と孫にこんな仕打ちをするなんて信じられない」と涙ぐんだ。



* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *
ベラルーシの物価 (2010 年 2 月)

<現地通貨ベラルーシルーブルをドルに換算>

鶏肉 1キロ	\$ 2.69
豚肉 1キロ	\$ 5.45
レバー肉 1キロ	\$ 3.72
ソーセージ 1キロ	\$ 4
牛乳 1リットル	\$ 0.62
バター 200グラム	\$ 1.06
カッテージチーズ 1キロ	\$ 3.06
チーズ 1キロ	\$ 5.12
ヨーグルト 125グラム	\$ 0.57
ひまわり油 1リットル	\$ 1.56
マカロニ 500グラム	\$ 0.92
フルーツジュース 2リットル	\$ 2.23
そばの実 1キロ	\$ 0.63
砂糖 1キロ	\$ 0.88
バナナ 1キロ	\$ 1.44
みかん 1キロ	\$ 1.88
りんご 1キロ	\$ 1.26

(上記は実際のいくつかの商品の平均値です。値段はメーカーにより異なり、また同じメーカーでも店により異なることもあります。)



里親のページ

昨年末から1月にかけて、里子やその家族から里親の方宛に新年・クリスマスのカードや手紙が届きました。

里子からの手紙

Kさん、新年おめでとうございます。プレゼントを受け取りました。ありがとうございます。特にお人形がとてかわいいです。私は12月29日から1月9日までスラヴチチの小児病棟に入院して、肝臓と膀胱の治療を受けました。点滴をされ、注射を打たれました。今日退院してうちに戻ったら小包が届いていたのです。とてもうれしかったです。こちらは今本格的な冬です。雪がたくさん降っています。すごいマロース（厳寒）です。私には仲の良い友だちがいません。足をひきずらないと歩けないからです。お手紙を心待ちにしています。（ウクライナ スラヴチチ市）

~~~~~  
Sさん、新年おめでとうございます。ご健康とご多幸をお祈りいたします。僕の学業へのご援助とあなたの優しい心にとて感謝しています。あなたと、あなたの親しい人たちにとって、素晴らしい年でありますように。（ベラルーシ ミンスク市）

### 里子の家族からの手紙

私たちはあなたにお手紙が書けることをとてもうれしく思っています。娘へのご支援にたいしてお礼を申し上げます。これからもお手紙を差し上げたいと思います。今回は娘の写

真を送りました。  
次は家族全員の写真を送ります。

あなたのお母様とお兄様によるしくお伝えください。ご支援をほんとうにありがとうございます。敬意と感謝をこめて。（ベラルーシ ナロヴリャ市）

~~~~~  
クリスマスと新年のお祝いを申し上げます。幸福と健康とたくさんの喜びがありますように。スタスはもうすっかり大きくなりました。5歳10カ月です。活発で陽気な子どもです。ミンスクの病院で検査を受け、11月20日に帰ってきたばかりです。血液検査の結果はよくありません。貧血の心配があると診断されました。薬の服用で正常値に戻ることを願っています。今は扁桃炎にかかっている、のどが腫れ、ものを食べると痛がります。熱は39.5度もあります。解熱剤がなかなか効きません。あなたからいただいているご支援のお金は、スタスの薬やビタミン剤に使わせていただいています。この子の治療のためのご支援に、深く感謝しています。就学前の準備教室に申し込みたいと思っています。これは週1回、2時間ほどです。ここに通えば、1年生になるときに少し楽かと思うのです。Yさんはいかがお過ごしですか。新しい年が幸せな年になることをお祈りします。

（ベラルーシ カリンコヴィチ市）



ミンスクの便利



この冬は本当に寒く、私がベラルーシで過ごした10年余りの中でも、最も寒いものになりました。周囲のベラルーシ人も、同様のことを言っており、また実際、平均気温でいくと観測史に残るほどの冬だったようです。もっとも、最低気温の記録では、マイナス30度を下回るような気温も過去にはありましたので、滅多に体験できない寒さ、というほどではありませんでしたが、来る日も来る日も氷点下で、まるで巨大な冷凍庫の中にいるような感覚にとらわれました。

3月に入ってさすがに日も長くなり、気温も上昇してきたものの、溶けたと思ってもまた雪が降ったり、相変わらず春は遠い感じです。また、雪もかなり多く、道路脇に山盛りになっているため、気温上昇の具合によってはかなり悲惨なことになりそうで、地域によっては洪水も懸念されています。春を迎えるには多かれ少なかれ避けられないことですが、長い冬からくる精神的な疲れも出て、少々憂鬱な時期でもあります。

先日テレビでオリンピックを見ていた時、気温を調べてみると、バンクーバーはプラス9度、ミンスクはマイナス8度でした。暖かすぎて雪が降らなくても冬季オリンピックは開催できませんが、寒すぎて競技実施や観戦に支障を来すのだらうなと思いました。次回の開催地がロシアで最も暖かい土地の一つと言われるソチであるのも、ようやく合点がいった訳です。オリンピックと言えば、バンクーバー大会でベラルーシは金、銀、銅メダルを一つずつ獲得し、金メダルの数を基準にしたメダル獲得数ランキングでは、17位の結果でした。銀・銅のみで合計5個、20位の日本を上回る結果です。当初はホッケーでベラルーシチームの苦戦が続き、大統領までが「不満である」とのコメントを表明していたほどでしたが、結果的には銀メダル一つに終わった前を上回り、なかなかの立派

な成績だったと言えるのではないのでしょうか。メダルをとったのは、日本では余り馴染みがありませんがベラルーシのお家芸とも言えるバイアスロンと、前回も唯一メダルをとったフリースタイル（エアリアル）でした。フリースタイルでは結果的に金メダルが一個でしたが、予選では女子もベラルーシの選手が一位に入っており、複数のメダルを狙える状況でした。日本で大人気のフィギュアスケートは何故か弱く、今回のオリンピックにベラルーシは一人も選手を送ることができませんでした。

逆にお隣のロシアでは、参加した冬季オリンピックでは初めてフィギュアスケートで一つも金メダルがとれず、期待されたホッケーも負け、と散々な結果で、ソチオリンピックを4年後に控えて危機的な状況と騒がれました。いつも採点やドーピング検査の不公平を負けの口実にするロシアですが、さすがに今回は他人のせいばかりにもし切れなかったようで、国内オリンピック委員会の総裁が辞任に追い込まれる事態となりました。

オリンピックは愛国心を高揚させる一大イベントですが、これだけの成績でも、ベラルーシはごく静かなものです。ベラルーシの金メダル獲得はあるか、オリンピックの開催自体知らなかった人すらいるようでした。テレビ中継もしてはいましたが、日本のような派手さは全くなく、淡々としたもので、もちろんタレントのレポーターなどは皆無。うるさくないのはいいのですが、フィギュアの中継など演技中は全くコメントをしないので、素人には何の技をやっているのか終わるまで理解できず、困りました。ベラルーシにとってはどこか遠くの国でのオリンピックより、2014年にミンスクでの開催が決まったホッケーの世界選手権の方が重要なようです。この時はさすがに盛り上がるのではと思いますし、ベラルーシチームにもぜひ頑張ってもらいたいです。

花田朋子：ミンスク在住

チェルノブイリの歌声

～みなさんからの便利のコーナーです～

<カレンダー購入者の声>

事故の教訓を忘れないために、そして被害に遭われた子供たちが元気に幸せな人生を全うできますように祈っています。(茨城県 H さん)

24 年前チェルノブイリで事故が起こったとき、コープ(生協)に勤めておりました。イタリアのパスタを購入された組合員に配達する時、他人事じゃないと思いました。「チェルノブイリで放射能が放出され、放射能を帯びた雨がイタリアでも降りました。極微量ではありますが小麦が汚染され、その小麦粉で作られた可能性があります。人体には影響はございませんが、気になさる方は申し出てください。返金させていただきます」・・・そのような事があったのを『チェルノブイリ』という言葉を目にすると思い出します。その後、原水爆禁止運動にも参加しました。しばらく見て見ぬふりをしていました。ハイチで地震が起こり、自分だけの幸せを考えてはいけなないと思い、ささやかながら寄付させていただきました。(大阪府 N さん)

*その後、チリ大地震も起きてしまいました。被災者のみなさまにお見舞い申し上げます。(編集部 注)。

<ベラルーシのしおり購入者の声>

一つひとつ貼ってある布の色が違って丁寧にしたのが分かります。長く大事に使っていきたいと感じさせます。(愛知県 S さん)

<23周年イベントDVD購入者の声>

広河隆一氏のお話は東京に住んでいた時に何回か聞いたことがありましたので、今回は懐

かしさを覚えながらじっくり耳を傾けました。DVDの画面では残念ながら写真家としての広河氏がこだわっていらっしゃる鮮明な映像とはなっていませんが、毎年チェルノブイリカレンダーに使われていた写真も多く、それらを思い出しながら説明をうかがい、1枚の写真が持つ意味の深さ、広河氏の思いなどを改めて知ることができたように思います。音声はとてクリアに入っていたので、またDVDの画面の構成も観客席から撮って、写真と広河氏が両方きちんと収まっていたので、私もその場に参加しているような心持で観ることができ、よかったですと思いました。また前半に収められているピアノと詩の朗読と写真のコラボレーションの映像も臨場感があってよかったですと思いました。詩人の自作朗読、いいものですね。(北海道 T さん)

物販/新着品 **ベラルーシ製のカード**



1枚200円(送料別) 縦10cm×横15cm(閉じた時のサイズ) カードの中に合せ紙が付いていて、

メッセージを書き込むことができます。ベラルーシの民族衣装の帯に使われる模様がプリントされています。人生の段階によって、それぞれ決まった帯があり、その人を災いから守るといった願いがこめられています。

黒部ドクターのお話



花粉症の話

この時期に花粉症にお悩みの方は多いと思います。でも決して悩むことはありません。実は私も、高校時代から、通年性のアレルギー性鼻炎だったのです。ですから皆さんの悩みもよく判ります。でも開業医になってから25年、10日前後しか発病しておりません。

まず、なぜなるか。それは遺伝的素因（遺伝子）と環境因子です。難しい話は省略して、両親や血縁家系にアレルギー性の病気（喘息、アレルギー性鼻炎、花粉症、アトピー性皮膚炎、じんましん、食物アレルギーなど）がある人は遺伝的素質を持っています。しかし、遺伝子を持っただけでは発病しません。遺伝子にはいろいろありますが、遺伝子にスイッチが入った時に病気になるものが多いのです。まさに花粉症はそれで、私の持論は病気の原因は環境に適應できなかった時になるというものです。花粉症はまさにその典型です。

環境にうまく適應できなくなった時に、遺伝子にスイッチが入って病気になるのです。環境には、自然、社会、精神的、情緒的なもの（俗にストレスと言われるもの）があります。花粉症には100種類位ありますが、日本ではスギ、ただしスギのない北海道ではシラカンバ、アメリカではブタクサ、ヨーロッパでは牧草が多いのです。

花粉症の症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、鼻、目、のど、耳のかゆみ、涙などです。口呼吸をするのでかぜをひきやすいです。咳やのどの痛みはかぜの症状です。

病気とのつき合い方（これを治療と言います）はいろいろあり、医者によって違います。私は、俗に抗アレルギー剤（第二世代の抗ヒスタミン剤、判り易くは鼻水の薬、これは日本では事前から毎日続けることを勧めています）、世界的には鼻水の薬と同じで、症状がでたら使い、よくなったら止めてもよいし、

ひどい人は続けているとよいです。私はアレグラを眠気が少ないので使います）と、目薬はかゆい時に使うステロイドの点眼薬（コンタクトの人と緑内障の人はだめ）か、毎日かゆくなくても一日二回続けないと効果がでない、インタール系の予防効果のある点眼薬を使うことが初期の段階です。それと花粉を吸い込まないこと。ひどい人はまだまだ対処の方法がありますが、書ききれませんので略します。

私は、遺伝子のスイッチが切れれば病気が治り、それは環境を替えること、と考えています。それはスギの無い土地へ行くことでも、仕事や住んでいる所を替えることでも、結婚や子どもができることでも、何か生きがいを見つけることでも、こころの持ち方を変えることでもよいのです。少なくとも、最低しなければいけないことは、ストレスを無くすことです。

それから、病気を嫌わないで下さい。病気は自分の体の変調です。ちょうどピアノの調律がはずれた状態です。自分の体が、自分の体の中枢の指令を守らなくなったからで、自分自身の変化です。それを嫌うと、自分のこころが自分の体を嫌うことになり、潜在意識の中で葛藤（抗争）を起してうまくいきません。上手に病気を受け入れて、仲良くつきあって下さい。環境や考え方が変われば、よくなります。プラス思考になり、嫌なことは嫌だと言い、どうしても仕方ないことは、「まあいいか、仕方がないや」と思い、くよくよせず、嫌なことは忘れて、楽しい人生を送って下さい。必ず、病気は逃げて行きます。

黒部信一：吹上共立診療所所長 小児科医師

2009年度決算報告書
 【2009年1月1日～2009年12月31日】

収 入	
項 目	金 額
前期繰越	14,397,110
募金	
救援一般*1	17,933,827
保養費	1,268,981
特別保養費	1,655,500
里子支援	5,755,430
救援キャンペーン	
23周年4月イベント	576,036
07医療機器支援	2,000
08緊急募金	17,000
09特別保養費同金	1,413,500
購読料・運営費*2	4,066,620
預貯金利息	14,684
物販売上	
本・ポストカード・CD・民芸品	226,065
カレンダー2009	922,850
カレンダー2010	2,829,050
雑費	826
小 計	51,079,479
合 計	¥51,079,479

支 出	
項 目	金 額
救援	
医薬品・物品	2,988,757
保養費	5,061,878
特別保養	3,065,286
団体運営費*3	2,007,328
里子支援*4	5,595,835
緊急支援*5	97,932
奨学生支援*5	1,008,337
通訳・派遣	568,622
発送費	4,800
送金・為替手数料	187,770
救援キャンペーン	
23周年4月イベント	237,227
24周年4月イベント	58,130
事務運営費	
国際 Tel・Fax	11,552
国内 Tel・Fax	145,101
印刷・コピー費	344,729
ニュースほか発送費	907,188
人件費	4,549,683
交通費	440,980
事務消耗品費	216,415
事務所費	1,155,223
広告・宣伝費*6	226,100
資料・会議費	12,360
送金手数料	4,070
物販仕入	
本・ポストカード・CD・民芸品	11,881
カレンダー2009	1,021,950
カレンダー2010	1,437,874
雑費	2,357
小 計	31,369,365
次期繰越金	19,710,114
合 計	51,079,479

- *1 23周年救援キャンペーン各地の募金含みます。
- *2 (株)カタログハウスからの運営費350万円含みます。
- *3 スタッフ給与、事務所費など。
- *4 里子支援は93人分(経費1割含みます)
- *5 緊急支援4人、奨学生支援22人(年度途中の人数も含みます)
- *6 三つ折りパンフ作成代など。
- * 切手・ハガキ14,346円、商品券33,000円分、その他折り紙、コピー用紙などの物品も寄贈されています。
- * カレンダーの収入・支出とも次年度にまたがります。2009年度のカレンダー収益は1,173,528円でした。
- * 「若い家族支援」は終了。支援を受けていた人の一部は里子支援に振替ました。

2009年度の会計監査の結果、適正であることを認めます。

2010年2月21日

会計監査

監事 鈴木 由利子

***** 募金・救援状況 *****

募金状況 2009年12月～2010年2月

	12月	1月	2月
募金件数	454件	250件	94件
救援寄付金	2,542,943	817,616	353,916
保養費	256,300	48,590	24,000
特別保養費	385,001	35,000	70,000
里子支援	88,140	1,349,255	979,410
09 特別保養費同金	104,000	6,000	-
通信費	106,000	72,000	14,000
合計(円)	3,482,384	2,328,461	1,441,326

☆他に現物寄付(商品券、切手) 16,680円分

救援状況 2009年12月～2010年2月 (単位:円)

<ウクライナ>

子どもたちの生存

里子支援 10人('10.1～6月分) 279,180

運営費('10.1～12月分維持費、スタッフ給料) 465,300

内分泌研究所

医薬品('10.1～12月分) 930,600

<ペラルーシ>

希望 21

一般保養費(1回目分) 1,680,850

困難の中の子どもたちへの希望

里子支援 65人('10.1～6月分) 1,799,850

医薬品('10.1～12月分) 933,606

運営費(事務所維持費、現地銀行手数料) 384,118

チェルノブイリのサイン

里子支援 11人('10.1～6月分) 307,098

2010年救援カレンダーの収益は、2010年2月末現在
¥1,703,326 です。ご協力ありがとうございます。

♥ 募金団体名一覧 ♥

紙面の都合上、個人名は省略させていただいております。多くの方々からご寄付をいただきました。みなさまに心より感謝申し上げます。
 (順不同・敬称略)

【12月】

ぐりんぴーす／川西友の会／すぺーすはちのこ／One Voice AIZU 実行委員会／恵泉女学園中学・高等学校／大阪北教会婦人会／東京・生活者ネットワーク／浦和教会 日曜学校／日本キリスト教会 南浦和教会／国際交流はなのき会／川和保育園／ア・ラ・カルト／グローバル・イン原町／友愛富士見町保育園／中振キリストの教会／(株)佐藤しのぶアートガーデン／千葉友の会／ヒーリング・スペース・レイ／日本山妙法寺／不二聖心女子学院／ACT21／自治労横浜環境創造支部／実教出版放射能倶楽部

【1月】

東用堂治療院／東京労音／東京平和運動センター／松山古町教会 C.S.／日本キリスト教協議会／自治労日野市職員組合／チェルノブイリ子ども基金あいづ／チェルノブイリ子ども基金奥羽／イエス・キリスト教会 祈りの家

【2月】

川和保育園 父母の会／(株)音楽センター／東京一般労働組合 東京音楽大学分会／日本基督教団 代々木上原教会／広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会

※団体の方についても、領収証は別紙のとおり郵便局の払込受領証でかえさせていただきます。別途ご入用の方は振込用紙にその旨ご記入ください。

ブログ〔神楽坂事務局だより〕より 2010-3-8

日本ではほとんど知られていませんが、3月8日は「国際婦人デー」で祝日です。日本の「母の日」「ひな祭り」「勤労感謝の日」を一緒にしたものに近いかもしれません。

こちらでは町のあちこちで「国際婦人デーおめでとう！」の横断幕やポスターなどが見られます。この日、職場や家庭で男性が女性にお祝いをして贈り物をします。今年は3/6-7が土日のため3日間お休みが続きます。どこの職場でも金曜日は仕事を早く切り上げて、女性職員をお祝いするそうです。

女性にプレゼントするもので喜ばれるものとして、「子猫」「ダンベル(などの健康器具)」「ぬいぐるみ」、そして何よりよいのは「花束とお金」だそうです。

ゴメリ市の気温は、昼間はマイナス 2～3 度ですが、夜中はマイナス 15 度くらいになります。もう激しい雪は降りませんが、残雪が凍ってすべりやすくなっています。これから暖かくなってきたら、残雪が溶けてどこも水浸しになり大変なことになるそうです。

「こんなに冬が長いのは珍しい、早く春がきてほしい」とみんな話しています。(ゴメリ市にて 佐々木)

事務局から

ボランティア参加について

事務局では、毎月第1・3土曜日の午後1時半～5時半、ボランティアの方に事務作業などを手伝っていただいています。

【問い】平日午前10時～午後5時半 留守の場合は伝言をお願いします。T&F 03-5228-2680

次回ニュース発送作業

6/26(土)午後1時～5時 東京ボランティア市民活動センター A 会議室(飯田橋駅ビル セントラルプラザ 10階)。作業を手伝っていただける方を募集しています。少しの時間でも歓迎です。6月の第3土曜日は休みます。ボランティア参加希望の方は、日程が変更になる場合もありますので前日までにご連絡ください。

DVD "DIGNITY (尊厳)"

写真/広河隆一 音楽/青柳拓次 製作 広河隆一事務所 定価 2,000円(送料別 80円)(約35分間)。10部以上1割引、送料無料でチェルノブイリ子ども基金の顧問でフォトジャーナリストの広河隆一が長年取材を続けてきたチェルノブイリとパレスチナ。人々の尊厳に関わる歴史を刻み込んだ写真に、アーティストの青柳拓次さんのオリジナル音楽付き。収録されている写真は全部で265枚。基金を通して購入されますと代金の2～3割が基金への募金となります。

DVD 特別上映会【その1】鈴村稔水彩画展会場ギャラリーダダ 【問】045-774-9282
主催 チェルノブイリ子ども基金・横浜 入場無料
第1回 3/31(水) 18:45～ 第2回 4/2(金)18:55～ 第3回 4/3(土)18:55～

DVD 特別上映会【その2】広河隆一写真展オープニングイベント 文京シビックB1F 学習室
〔要予約〕入場無料 4/21(水)
*時間等は未定です。参加希望の方は基金事務局までお問い合わせください。



24周年救援キャンペーン

2ページに掲載しましたように、今年の子ども基金主催の救援イベントは、「現地報告/チャリティコンサート&写真展」です。今回、全国のみなさまにチラシを同封させていただきました。遠い地域の方で関東にお知り合いがいらっしゃいましたら宣伝など、ご協力いただけましたら幸いです。また、賛同金一口1,000円も募っています。こちらでもよろしくお願ひいたします。

写真パネルの展示・撤去 ボランティア募集
期間中(4/21～23)当番として会場に詰めてくださるかたも募集中。短時間でも結構です。お手伝いできる方は事務局までお問い合わせください。

ニュースについて

募金をくださった方には、その使われ方の報告として原則1年間お送りしています。また、ニュース購読費(2,000円/年)も募っております。印刷・発送は実費の経費でまかなっておりますので、切手代とあわせても購読費以下で間に合います。残金は募金として使わせていただきます。今回、別紙のような「募金者のみなさまへ」というお知らせを同封しました。不明な点がございましたらお問い合わせください。

新事務局長あいさつ

「甲状腺手術後の子どもたちの特別保養」にボランティアとして初めて参加したのは12年前。そこで少林寺拳法教室を開催。子どもたちの一生懸命な姿やうれしそうな顔が忘れられず、少しでも元気づけることができたらと、毎年現地に行くようになりました。チェルノブイリ事故が人々にもたらした本当の悲劇は、統計数字だけからは見えてきません。チェルノブイリ被害者の支援のために、また同じ悲劇を繰り返さないためにも、人々の生の声を伝えていきたいと思ひます。事務局には、通常会計担当の関田と佐々木が詰めております。これからもご支援をよろしくお願ひいたします。

(佐々木真理)

発行人 チェルノブイリ子ども基金 鈴村 稔 発行日 2010年3月20日(年4回発行)

〒162-0816 東京都新宿区白銀町25メゾンド原207号室 Tel / Fax 03-5228-2680

郵便振替口座 「チェルノブイリ子ども基金」 00160-4-98316

ウェブサイト=<http://www.smn.co.jp/cherno/index.html> e-mail: cherno1986@tokyo.email.ne.jp

事務局ブログ更新中 神楽坂事務局だより <http://blog.goo.ne.jp/cherno1986jimukyoku/>

当基金は任意団体のため、ご寄付は税金控除の対象とはなりません。ご了承ください。